



古木康太郎 JATA 旅博推進会議委員長

## 旅行産業全体のフラッグシップイベントへ アジアを代表する総合的な旅の展示会として確立

### 古木康太郎 JATA 旅博推進会議委員長に聞く (株)グローバルユースビュロー代表取締役会長

日本旅行業協会（JATA）による単独開催となってから3回目を迎える「JATA 旅博2013」は、今年9月12日から15日までの4日間にわたり、東京・有明の東京ビックサイト東展示場で開催されます。「旅で示そう 日本の元気」を開催テーマに、世界150を超える国と地域から集まる旅行業関係者が展示会や商談会、フォーラムなどを通じて、旅を発信し、旅の情報を交換し、旅を語りあいます。JATA 旅博2013の古木康太郎委員長にお話をうかがいました。

**Q** 「旅で示そう 日本の元気」を開催テーマに掲げた「JATA 旅博2013」に向けて、旅博推進会議委員長としてお考えをお聞かせください。

**古木委員長** 海外旅行需要の喚起を目指して1977年からスタートし、アジア最大級の規模と実績を誇る観光イベントにまで成長した「JATA 旅博」は、JATA による単独開催となってから今年で3回目となります。JATA の一大事業として、国内外の旅行の促進、日本の旅行業界関係者と世界中の取引先、国際的なバイヤーとセラーの集合体として、アジアで最も大きなトラベルフェアと位置づけられるものです。

東日本大震災から間もなく丸2年が経過するわけですが、震災直後に示した日本人の行動は世界中から賞賛され、世界が日本に感動した事実は記憶に新しいところでは、「旅で示そう 日本の元気」というテーマには、日本人が世界へ旅に出かけることによって、「日本は元気になりました」というメッセージを発信したり、国内に向けても「日本の経済がここまで戻ったんだな」ということを国民の皆さんに実感していただいたり、そういう旅を通じたポジティブなイメージへの思いが込められています。

**Q** 今回は初めて、海外向けのテーマとして、「Japan-Treasure Islands of Tourism and Opportunity」という英文も用意されています。

**古木委員長** 日本語のテーマは、いわ

ば、日本の国民に向けて、「旅で充実した生活を送り、楽しい生き方を考え、世界に日本の元気を旅を通して発信しよう」というメッセージを送るものです。旅博で来日する外国からの参加者は、アウトバウンドのビジネス領域では日本はまだまだ拡大し、高価値を生み出す旅行市場を有していますよ、そしてインバウンドの領域においては、日本には沢山の観光素材があり、見るもの、味わうもの、感じるもの、学ぶものなど、沢山の宝が埋もれた宝島なんですよ、というメッセージを伝えたいと考えています。「旅で示そう 日本の元気」にも、多分にインバウンドの観点からの意味合いも含まれていて、来日した皆さんには、「えっ、日本人たちは実際にこんなに楽しんでいて、国内は完全復活し

## 「東アジアの商談会」へ強化

JATA 菊間潤吾会長



JATA 旅博の形になって今年で3回目を迎え、商談会の規模も大型化してきています。年初に「旅行業の価値創造元年」という話をしましたが、旅行者自身が様々な新しい情報にふれて、お客さまがお持ちでないものを商品化したり、インフォメーションとして提供しなければ、プロとしての存在感が問われるわけです。その意味で、商談会の強化は極めて重要であり、サプライヤーの皆さんには、これまで以上に色々な情報提供をお願いしたいし、旅行会社側にも情報収集という観点からの意義を再認識していただきたいと思えます。

また、韓国や台湾からもそれぞれのアウトバウンドを扱う皆さんに積極的な参加を促して、「JATA 旅博」東アジアのアウトバウンド」というイメージを強め、商談会にしても、サプライヤー側から「東アジアの商談会」という捉え方をしてもらえよう強化したい。「JATA 旅博」に行かないと、アジアの最新のトレンドが掴めないと言われるくらいにしたい、と考えています。

